

平成23年度(平成24年1月～3月)

# 市の主要事業のあゆみ

## エコバレーの推進

《平成24年1月～3月取組み》

■大規模太陽光発電所(メガソーラー発電所)の検討

環境都市「豊岡エコバレー」のシンボルとして再生可能エネルギーの地産地消を進め、エネルギー利用の多様化に貢献するため、メガソーラー発電所の整備について検討しました。

■豊岡版エコハウスモデルプランの作成

エコハウス性能検証調査や専門的技術研修等を踏まえ、より豊岡の気候風土にマッチしたエコハウスを普及していくため、「豊岡版エコハウスモデルプラン」を作成しました。

○3月23日、豊岡版エコハウスモデルプラン説明会開催(建築関係事業者対象)

■豊岡版エコポイント制度の検討

豊岡エコバレーの定義の一つを「みんなでエコに取り組

むまち」としています。

その実現に向けた第一歩として、皆さんが参加できる「豊岡版エコポイント制度」について検討しました。「市民エコポイント」「企業エコポイント」の二つの仕組みを考えています。

《4月以降の実施・予定》

■豊岡版エコポイント制度の市民・企業説明会の開催

エコポイント制度は、7月以降の実施を予定しています。それに先駆け、説明会を開催します。

## 生物多様性関連事業の推進

《平成24年1月～3月取組み》

■生物多様性地域戦略検討委員会

○3月15日、地元の市民識者委員による意見交換会開催  
○3月21日、地元の高校生委員による意見交換会開催

○3月27日、第2回生物多様性地域戦略検討委員会開催

■JICA(独立行政法人国際協力機構)草の根技術協力事業「コウノトリが結ぶ環境協力」

○2月27・28日、中国・浙江省慈溪市庵東鎮から研修団が来訪  
・教育チームは三江小学校で環境教育の授業などを見学し、庵東鎮の小学校を対象にした環境教材を一緒に検討  
・農業チームはコウノトリ育む農法の実践農家などと個別に面談し、意見交換  
・28日は庵東鎮訪問団と豊岡の農家がパネラーとなり、シンポジウムを開催

■ラムあるき+

○2月25日、ラムサール条約湿地登録を目指すウォーキングイベント「ラムあるき+」を開催  
・冬の六方田んぼ周辺を歩き、水田にたたずむコハクチョウの群れなどの冬鳥を観察(約50人参加)

■コウノトリKIDSクラブ

○2月4日、「近畿子どもの水辺交流会(三田市、人と自然の博物館)にコウノトリ

KIDS 8人が参加  
○2月4・5日、「世界一田めになる学校・フィールデイズ」(宮城県大崎市・登米市)に

八条小学校児童6人が参加  
○3月20日、ラムサール条約登録湿地である三方五湖(福井県)などの見学会にコウノトリKIDS 14人が参加

《4月以降の実施・予定》

■生物多様性地域戦略検討委員会

市内でのワークショップやイベントを通して、豊岡の生物多様性をどう守り生かしていくかなど、実践型の戦略策定を進めていきます。

■JICA草の根技術協力事業「コウノトリが結ぶ環境協力」

○環境教育  
庵東鎮での環境教育に使用する教材を日中共同で作成し、今秋には中国の小学校でそれらを活用した授業を実施する予定です。

○農業  
庵東鎮での農薬などに頼らない農業の拡大に向け、生きものと共生するコウノトリ育む農法の理念を普及していきます。

## 新庁舎建設事業の推進

新庁舎建設工事では、周辺地域の皆さんに大変ご迷惑をお掛けしています。



▲現本庁舎の曳家に合わせて実施した見学会の様子

《平成24年1月～3月取組み》

■工事の状況  
○現本庁舎工事：レールの上を、南へ約25メートル曳家し、ジャッキダウンを行いました。

※曳家の様子(動画)を市ホームページに掲載しています  
○新庁舎工事：現本庁舎の跡地では、7階建ての新庁舎の建設に向けて、地盤改良工事、杭工事を行いました。

《4月以降の実施・予定》

現本庁舎に防震装置を設置するとともに、大型クレーンを使った工事を始めます。

## 公共交通利用促進

《平成24年1月～3月取組み》  
■上限200円バス社会実験

### 事業

中学校卒業後も神鍋線を利用していただき、親子で今回の社会実験について考えていただくため、次の事業を実施しました。

また、地域の皆さんに改めてバス利用を考えていただく機会となるよう、キャンペーンを展開しました。

利用促進のためにアンケートなどを実施しました。

○3月2日、日高西中学校出前授業実施

○3月9日、日高西中学校保護者説明会開催

○3月19～31日、神鍋線利用拡大キャンペーン「チャレンジ2500」

○1月17日、利用者アンケート実施

○2月28日、利用実績報告・利用促進策打合せ会

・地元利用促進団体と情報交換

○乗込調査の実施(延べ3回)  
・利用状況分析

■市営バス「イナカー」住民説明会

平成22年10月から平成23年

9月までの1年間の市営バス「イナカー」の利用状況をお知らせするとともに、地域の皆さんから意見をいただくため、路線毎に住民説明会を開催しました。

○2月6～21日、市営バス「イナカー」住民説明会開催(8地区)

■e通勤プロジェクト

地域の公共交通を守り、次の世代へ残していくため、マイカーからバス・鉄道への転換を推進する「e通勤プロジェクト」を実施しています。

《4月以降の実施・予定》

■上限200円バス社会実験

事業

・運行事業者や地域と一体となり利用促進をPRします。

・神鍋の地域資源やイベントを活用した誘客による利用促進に取り組みます。

■鉄道運賃助成

JR山陰本線を走る臨時快速列車「山陰海岸ジョライナ1」を8人以上の団体で利用した場合、鉄道運賃の2分の1を助成します。

## 中心市街地活性化

《平成24年1月～3月取組み》

新庁舎完成後の「市役所南庁舎別館」の活用について、本庁舎と本庁舎前に整備予定の市民広場との有機的活用を基本に計画策定を検討しています。

南庁舎別館などの活用により、まちなかへの集客力向上や地域への波及効果の向上を図ります。

■南庁舎別館等利活用の方針

プロジェクト会議(検討委員会)による検討状況

○南庁舎別館：建物の文化的な価値を生かした広域圏向けの施設

○現本庁舎：市民活動や交流の拠点(生涯学習の教室、市民情報センター、市民活動団体の活動スペース、展示ギャラリー)

○市民広場：市民が集い交流する広場(ベンチやテーブル、日陰スペース、市民ボランティアによるガーデニング)

○いちご駐車場：中心市街地の玄関口の創出(駐車場、

情報センター、イベント広場、土産特化型地場産ショップ)

○1月25日、2月20日、3月21日、同プロジェクト会議開催

《4月以降の実施・予定》

「市役所南庁舎別館」の活用計画を早期にまとめます。

情報センター、イベント広場、土産特化型地場産ショップ)

情報センター、イベント広場、土産特化型地場産ショップ)

○1月25日、2月20日、3月21日、同プロジェクト会議開催

《4月以降の実施・予定》

「市役所南庁舎別館」の活用計画を早期にまとめます。

計画を早期にまとめます。



▲南庁舎別館(建設当時)

## スマートウェルネス

### 豊岡構想の推進

《平成24年1月～3月取組み》

■歩いて暮らすまちづくり条例を制定

少子高齢・人口減少社会を迎え、地域活力の低下や社会保障費の増大が懸念される中で、市民一人一人が健康であることは、個人の課題にとどまらず、互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会を構築し、維持する上で不可欠な要素です。

この条例は、昨年6月から素案について市民説明会を開催してきた「スマートウェルネス豊岡構想」の趣旨を条例化したものです。

市民誰もが歩いて暮らすことを基本とした健康づくりに取り組み、健康で安心して暮らせる社会を目指します。

《4月以降の実施・予定》

■歩いて暮らすまちづくり条例施行

築し、維持する上で不可欠な要素です。歩いて暮らすまちづくり条例が3月議会で可決されました。

この条例は、昨年6月から素案について市民説明会を開催してきた「スマートウェルネス豊岡構想」の趣旨を条例化したものです。

市民誰もが歩いて暮らすことを基本とした健康づくりに取り組み、健康で安心して暮らせる社会を目指します。

《4月以降の実施・予定》

■歩いて暮らすまちづくり条例施行

同条例を4月から施行しました。

条例の趣旨の周知に努め、科学的検証に基づき、誰もが楽しみながら取り組む健康づくりを、市民や団体と連携して進めます。

条



▲みんなで楽しく歩いて健康づくりを